ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年６月28日から2045年６月12日までです。	
運用方針	ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主として米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）を投資対象とし、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ＳＢＩ岡三ＮＡＳＤＡＱＡＩアクティブマザーファンド	米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券の投資割合には制限を設けません。
	ＳＢＩ岡三ＮＡＳＤＡＱＡＩアクティブマザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産の投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年６月12日および12月12日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

第２期

運用報告書（全体版）

ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブファンド

【2025年６月12日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブファンド」は、2025年６月12日に第２期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
ホームページ　https://www.sbiokasan-am.co.jp

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
（設定日）	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2024年６月28日	10,000	－	－	3,501,903.4050	－	－	－	538
１期(2024年12月12日)	10,385	0	3.9	3,729,106.0800	6.5	98.1	－	1,660
２期(2025年６月12日)	10,142	0	△2.3	3,464,835.0384	△7.1	98.0	－	1,652

（注）基準価額および分配金（税引前）は１万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
（注）設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
（注）NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。（以下同じ。）
（注）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。
（注）株式先物比率＝買建比率－売建比率。

Nasdaq®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します）の登録商標であり、ＳＢＩ岡三アセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaq社は、ＳＢＩ岡三アセットマネジメント株式会社が設定するアクティブ・ファンドの運用プロセス、または当該ファンドのマーケティングまたは取引に関連して、いかなる関係も責任も負いません。当該アクティブ・ファンドとその運用プロセスの合法性または適格性はNasdaq社によって保証されたものではありません。当該ファンドは、Nasdaq社によって発行、承認、販売、または販促されるものではありません。また、Nasdaq社は、当該ファンドに関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

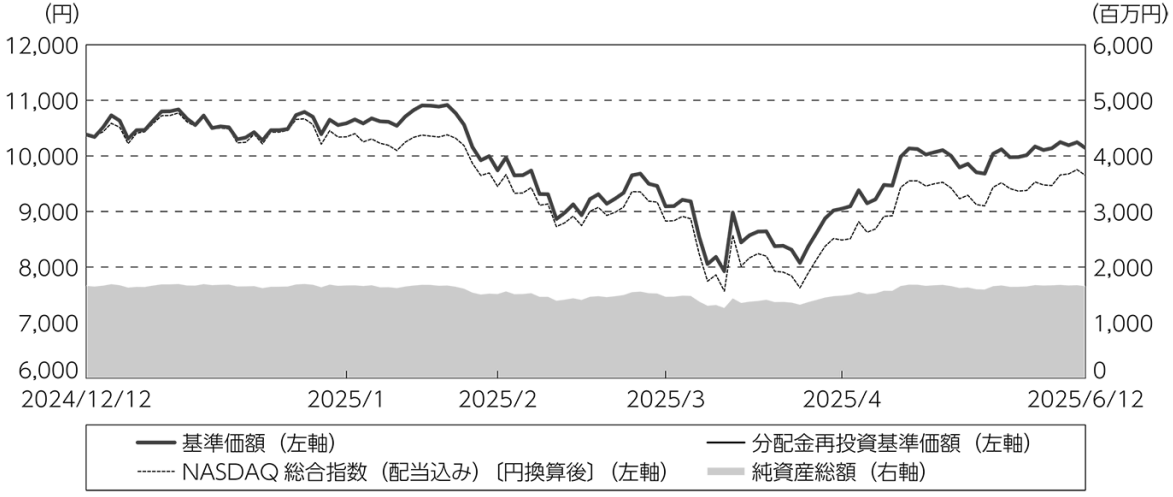
年月日	基準価額		NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
（期首）	円	%	ポイント	%	%	%
2024年12月12日	10,385	－	3,729,106.0800	－	98.1	－
12月末	10,671	2.8	3,811,228.4650	2.2	98.0	－
2025年１月末	10,587	1.9	3,714,112.5378	△ 0.4	98.1	－
２月末	9,741	△ 6.2	3,393,885.4893	△ 9.0	96.1	－
３月末	9,093	△12.4	3,169,731.2976	△15.0	97.7	－
４月末	9,050	△12.9	3,047,400.9589	△18.3	97.5	－
５月末	9,976	△ 3.9	3,379,929.2778	△ 9.4	98.5	－
（期末）						
2025年６月12日	10,142	△ 2.3	3,464,835.0384	△ 7.1	98.0	－

（注）騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年12月13日～2025年6月12日）



期　首：10,385円
期　末：10,142円（既払分配金（税引前）：0円）
騰落率：△ 2.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕です。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年12月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ＳＢＩ岡三 ＮＡＳＤＡＱ ＡＩアクティブマザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

・業種配分では、半導体・半導体製造装置、ソフトウェア・サービス、メディア・娯楽などがプラスに寄与しました。
・個別銘柄では、ＢＲＯＡＤＣＯＭ ＩＮＣ、ＮＥＴＦＬＩＸ ＩＮＣ、ＣＲＯＷＤＳＴＲＩＫＥ ＨＯＬＤＩＮＧＳ ＩＮＣ － Ａなどがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

・業種配分では、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、自動車・自動車部品、耐久消費財・アパレルなどがマイナスに影響しました。
・個別銘柄では、ＡＰＰＬＥ ＩＮＣ、ＴＥＳＬＡ ＩＮＣ、ＡＭＡＺＯＮ．ＣＯＭ ＩＮＣなどがマイナスに影響しました。
・米ドルの対円での下落がマイナスに影響しました。

投資環境

（2024年12月13日～2025年6月12日）

米国株式市場は下落しました。2025年２月にかけてはインフレ鈍化やトランプ新政権への期待などから高値圏で推移しましたが、トランプ政権が相次いで強硬な不法移民対策や関税政策を打ち出すと、物価上昇や景気悪化への懸念が急速に広がり、株価は４月上旬にかけて急落しました。その後は、相互関税適用の延期や英国・中国との貿易交渉の進展を受けて警戒感が後退し、株価は下げ幅をほぼ取り戻す展開となりました。こうしたなか、NASDAQ総合指数（配当込み）は下落しました。

為替市場では、米ドル安／円高が進行しました。2025年初頭にかけて米ドル／円が上昇する場面がありましたが、その後は、米国の主要経済指標の悪化を背景に米金利が低下する一方で国内金利が上昇したことから、日米金利差が縮小し、米ドル安／円高が進行する展開となりました。さらに、トランプ政権の政策が米ドルの信認低下を招く可能性が懸念されたことも米ドル安要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年12月13日～2025年6月12日）

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行い、実質株式組入比率を高位で推移させました。

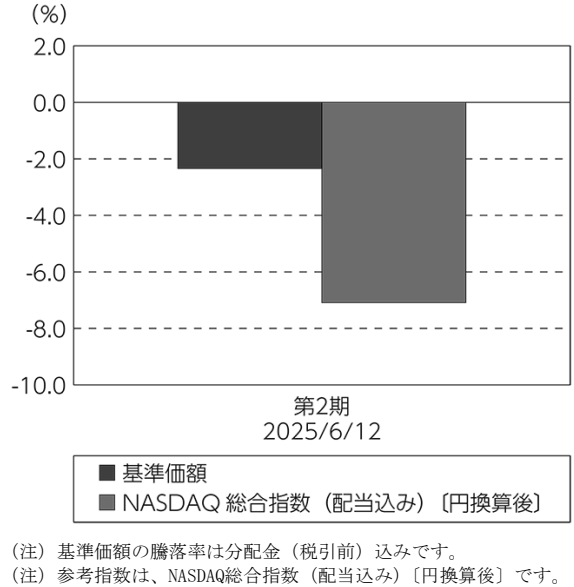
マザーファンドにおいては、運用方針に則り、人工知能（ＡＩ）による投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築しました。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にＡＩ予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年12月13日～2025年6月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕です。

分配金

（2024年12月13日～2025年6月12日）

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、１万口当たり・税引前）

項　　目	第２期 2024年12月13日～ 2025年６月12日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	563

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

米国株式市場は、上下に振れやすい展開を想定しています。トランプ大統領の発言に市場が左右される状況が続いていますが、これまで株価が急ピッチで上昇してきたことから、短期的には調整圧力を受けやすい地合いにあります。バリュエーション面でも株価にはやや割高感があります。関税政策次第という面は否めませんが、景気や企業業績への警戒感も短期的な下落要因となり得ます。それでも、企業業績の悪化懸念が一服し、2025年後半にＦＲＢによる利下げが実施されれば、株価は堅調に推移していくと見ています。

当ファンドの今後の運用につきましては、マザーファンド受益証券への投資を通じた実質株式組入比率を高位に推移させる方針です。

マザーファンドの運用につきましては、運用方針に則り、ＡＩによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築する方針です。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にＡＩ予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直します。

○１万口当たりの費用明細

（2024年12月13日～2025年６月12日）

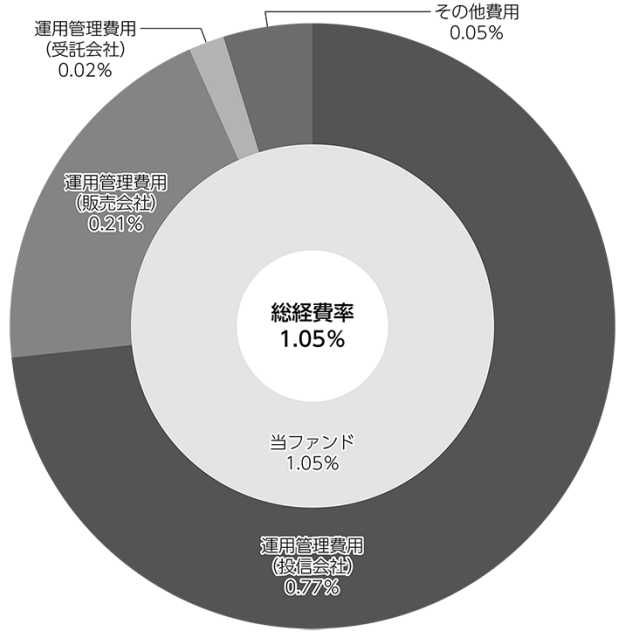
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	49	0.497	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(38)	(0.384)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(10)	(0.104)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.066	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(6)	(0.066)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.003)	
(d) その他費用	2	0.023	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	57	0.589	
期中の平均基準価額は、9,853円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年12月13日～2025年６月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンド	195,581	186,990	167,946	172,876

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2024年12月13日～2025年６月12日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,188,201千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,537,543千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.72

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2024年12月13日～2025年６月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年６月12日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンド	1,578,830	1,606,465	1,644,378

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年６月12日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンド	1,644,378	98.4
コール・ローン等、その他	27,473	1.6
投資信託財産総額	1,671,851	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。
（注）ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,631,863千円）の投資信託財産総額（1,652,208千円）に対する比率は98.8％です。
（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは１米ドル＝144.12円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年６月12日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,671,851,524
コール・ローン等	19,682,868
SBI岡三 NASDAQ AIｱｸﾃｨﾌﾞﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ(評価額)	1,644,378,437
未収入金	7,790,000
未収利息	219
(B) 負債	19,089,150
未払解約金	11,159,369
未払信託報酬	7,826,186
その他未払費用	103,595
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	1,652,762,374
元本	1,629,641,228
次期繰越損益金	23,121,146
(D) 受益権総口数	1,629,641,228口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	10,142円

(注) 計算期間末における１口当たりの純資産額は、1.0142円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は1,598,715,375円、期中追加設定元本額は468,053,162円、期中一部解約元本額は437,127,309円です。

○損益の状況 (2024年12月13日～2025年６月12日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	31,721
受取利息	31,721
(B) 有価証券売買損益	△10,821,174
売買益	14,985,747
売買損	△25,806,921
(C) 信託報酬等	△ 7,929,781
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△18,719,234
(E) 前期繰越損益金	68,042,147
(F) 追加信託差損益金	△26,201,767
(配当等相当額)	(23,689,251)
(売買損益相当額)	(△49,891,018)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	23,121,146
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	23,121,146
追加信託差損益金	△26,201,767
(配当等相当額)	(23,838,249)
(売買損益相当額)	(△50,040,016)
分配準備積立金	68,042,147
繰越損益金	△18,719,234

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第２期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	23,838,249円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	68,042,147円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	91,880,396円
分配対象収益(１万口当たり)	563円
分配金額	0円
分配金額(１万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年４月１日)
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブマザーファンド
第１期　運用状況のご報告
決算日：2025年６月12日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
（設定日）	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2024年６月28日	10,000	－	3,501,903.4050	－	－	－	535
１期(2025年６月12日)	10,236	2.4	3,464,835.0384	△1.1	98.5	－	1,644

（注）基準価額は１万口当たり。
（注）設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
（注）NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。（以下同じ。）
（注）株式先物比率＝買建比率－売建比率。

Nasdaq®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します）の登録商標であり、ＳＢＩ岡三アセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaq社は、ＳＢＩ岡三アセットマネジメント株式会社が設定するアクティブ・ファンドの運用プロセス、または当該ファンドのマーケティングまたは取引に関連して、いかなる関係も責任も負いません。当該アクティブ・ファンドとその運用プロセスの合法性または適格性はNasdaq社によって保証されたものではありません。当該ファンドは、Nasdaq社によって発行、承認、販売、または販促されるものではありません。また、Nasdaq社は、当該ファンドに関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

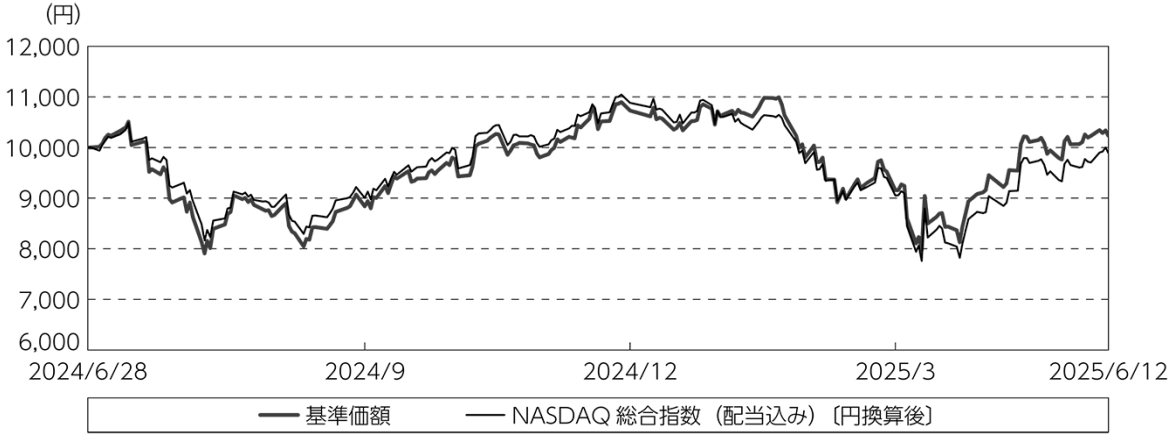
年月日	基準価額		NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
（設定日）	円	%	ポイント	%	%	%
2024年６月28日	10,000	－	3,501,903.4050	－	－	－
６月末	10,000	0.0	3,501,903.4050	0.0	－	－
７月末	8,733	△12.7	3,183,055.4324	△ 9.1	97.4	－
８月末	8,665	△13.4	3,091,187.5040	△11.7	98.0	－
９月末	8,840	△11.6	3,154,164.5786	△ 9.9	98.3	－
10月末	9,767	△ 2.3	3,487,555.7892	△ 0.4	98.9	－
11月末	9,808	△ 1.9	3,507,814.7662	0.2	98.3	－
12月末	10,732	7.3	3,811,228.4650	8.8	98.5	－
2025年１月末	10,654	6.5	3,714,112.5378	6.1	98.8	－
２月末	9,802	△ 2.0	3,393,885.4893	△ 3.1	96.6	－
３月末	9,155	△ 8.5	3,169,731.2976	△ 9.5	98.3	－
４月末	9,116	△ 8.8	3,047,400.9589	△13.0	98.0	－
５月末	10,064	0.6	3,379,929.2778	△ 3.5	99.0	－
（期　末）						
2025年６月12日	10,236	2.4	3,464,835.0384	△ 1.1	98.5	－

（注）騰落率は設定日比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年6月28日～2025年6月12日）



（注）参考指数は、NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕です。
（注）参考指数は、設定日（2024年６月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

・業種配分では、メディア・娯楽、ソフトウェア・サービス、自動車・自動車部品などが基準価額にプラスに寄与しました。
・個別銘柄では、ＢＲＯＡＤＣＯＭ　ＩＮＣ、ＮＥＴＦＬＩＸ　ＩＮＣ、ＭＥＴＡ　ＰＬＡＴＦＯＲＭＳ　ＩＮＣ－ＣＬＡＳＳ　Ａなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

・業種配分では、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、耐久消費財・アパレル、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスなどが基準価額にマイナスに影響しました。
・個別銘柄では、ＡＰＰＬＥ　ＩＮＣ、ＡＰＰＬＩＥＤ　ＭＡＴＥＲＩＡＬＳ　ＩＮＣ、ＡＲＭ　ＨＯＬＤＩＮＧＳ　ＰＬＣ－ＡＤＲなどが基準価額にマイナスに影響しました。
・米ドルの対円での下落がマイナスに影響しました。

投資環境

（2024年6月28日～2025年6月12日）

米国株式市場は上昇しました。ファンド設定後、2024年８月上旬にかけては、半導体規制や景気減速懸念から下落しましたが、インフレ鈍化や米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）の利下げ開始を受けて反発しました。その後、大統領選でトランプ氏が勝利し、共和党が上下院で多数派となったことで政策期待が高まり、株価は上昇基調を強めました。ただ、トランプ政権が相次いで強硬な不法移民対策や関税政策を打ち出すと、物価上昇や景気悪化への懸念が急速に広がり、株価は2025年４月上旬にかけて急落しました。その後は、相互関税適用の延期や英国・中国との貿易交渉の進展を受けて警戒感が後退し、株価は下落分をほぼ回復しました。こうしたなか、NASDAQ総合指数（配当込み）は上昇しました。

為替市場では、米ドル安／円高が進行しました。2024年９月にかけて、米国の利下げや日本の利上げ観測が強まるなか、投資家の円売りポジション縮小が加速し、160円台から140円近辺へと大幅に円高が進行しました。その後は、米景気見通しの改善やトランプ政権への期待などから150円台後半へと持ち直す場面がありましたが、2025年に入ると米国の主要経済指標の悪化を背景に米金利が低下する一方で国内金利が上昇し、日米金利差が縮小したことや、トランプ政権の政策が米ドルの信認低下を招く可能性が懸念され、米ドル／円は再び下落基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年6月28日～2025年6月12日）

運用方針に則り、人工知能（ＡＩ）による投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築しました。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にＡＩ予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直しました。

今後の運用方針

今後の米国株式市場は、上下に振れやすい展開を想定しています。トランプ大統領の発言に市場が左右される状況が続いていますが、これまで株価が急ピッチで上昇してきたことから、短期的には調整圧力を受けやすい地合いにあります。バリュエーション面でも株価にはやや割高感があります。関税政策次第という面は否めませんが、景気や企業業績への警戒感も短期的な下落要因となり得ます。それでも、企業業績の悪化懸念が一服し、2025年後半にＦＲＢによる利下げが実施されれば、株価は堅調に推移していくと見ています。

当ファンドの運用につきましては、運用方針に則り、ＡＩによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築する方針です。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にＡＩ予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直します。

○１万口当たりの費用明細

（2024年６月28日～2025年６月12日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	12	0.130	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(12)	(0.130)	
(b) 有価証券取引税	0	0.005	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.005)	
(c) その他費用	4	0.045	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.044)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	16	0.180	
期中の平均基準価額は、9,611円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2024年６月28日～2025年６月12日）

株式

		買付 株数	買付 金額	売付 株数	売付 金額
		百株	千米ドル	百株	千米ドル
外国	アメリカ	1,484	30,721	1,074	20,877
		(100)	(218)	(12)	(218)

（注）金額は受渡代金。
（注）単位未満は切捨て。
（注）( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2024年６月28日～2025年６月12日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項　　目	当　　期
(a) 期中の株式売買金額	7,660,703千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,509,979千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	5.07

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2024年６月28日～2025年６月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年６月12日現在）

外国株式

銘柄	当期末 株数	当期末 評価額 外貨建金額	当期末 評価額 邦貨換算金額	業種等
（アメリカ）	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	18	394	56,874	一般消費財・サービス流通・小売り
COSTCO WHOLESALE CORP	5	508	73,264	生活必需品流通・小売り
META PLATFORMS INC-CLASS A	9	651	93,837	メディア・娯楽
GILEAD SCIENCES INC	1	16	2,410	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALPHABET INC-CL A	3	61	8,843	メディア・娯楽
KLA CORP	3	339	48,886	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP	36	333	48,105	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP	83	1,188	171,264	半導体・半導体製造装置
OLD DOMINION FREIGHT LINE	15	250	36,166	運輸
BOOKING HOLDINGS INC	0.63	344	49,631	消費者サービス
CINTAS CORP	12	281	40,613	商業・専門サービス
FASTENAL CO	62	265	38,257	資本財
INTUIT INC	4	376	54,226	ソフトウェア・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	9	298	43,034	ソフトウェア・サービス
NETFLIX INC	4	573	82,630	メディア・娯楽
SYNOPSYS INC	5	295	42,649	ソフトウェア・サービス
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	30	275	39,695	一般消費財・サービス流通・小売り
MICROSOFT CORP	15	742	107,007	ソフトウェア・サービス
APPLE INC	52	1,036	149,371	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LULULEMON ATHLETICA INC	7	199	28,686	耐久消費財・アパレル
MERCADOLIBRE INC	1	293	42,313	一般消費財・サービス流通・小売り
BROADCOM INC	12	320	46,254	半導体・半導体製造装置
FORTINET INC	27	279	40,271	ソフトウェア・サービス
TESLA INC	3	124	17,971	自動車・自動車部品
PALO ALTO NETWORKS INC	16	316	45,581	ソフトウェア・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	6	304	43,926	ソフトウェア・サービス
CONSTELLATION ENERGY	9	277	40,004	公益事業
APPLOVIN CORP-CLASS A	7	301	43,434	ソフトウェア・サービス
DOORDASH INC - A	13	294	42,375	消費者サービス
ALPHABET INC-CL C	2	46	6,673	メディア・娯楽
ATLASSIAN CORP-CL A	11	240	34,673	ソフトウェア・サービス
合計 株数・金額	497	11,233	1,618,936	
合計 銘柄数＜比率＞	31	－	＜98.5%＞	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）邦貨換算金額欄の＜　＞内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
（注）株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

（2025年６月12日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	1,618,936	98.0
コール・ローン等、その他	33,272	2.0
投資信託財産総額	1,652,208	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。
（注）当期末における外貨建純資産（1,631,863千円）の投資信託財産総額（1,652,208千円）に対する比率は98.8％です。
（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは１米ドル＝144.12円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2025年６月12日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	**1,652,208,601**
コール・ローン等	32,682,350
株式(評価額)	1,618,936,944
未収配当金	589,080
未収利息	227
(B) 負債	**7,790,000**
未払解約金	7,790,000
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**1,644,418,601**
元本	1,606,465,844
次期繰越損益金	37,952,757
(D) 受益権総口数	**1,606,465,844口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**10,236円**

（注）計算期間末における１口当たりの純資産額は、1.0236円です。
（注）当ファンドの当初設定元本額は535,566,400円、期中追加設定元本額は1,402,596,531円、期中一部解約元本額は331,697,087円です。
（注）当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
ＳＢＩ岡三　ＮＡＳＤＡＱ　ＡＩアクティブファンド　1,606,465,844円

○損益の状況

（2024年６月28日～2025年６月12日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	**6,864,700**
受取配当金	6,796,076
受取利息	68,624
(B) 有価証券売買損益	**44,470,733**
売買益	401,852,562
売買損	△357,381,829
(C) その他費用等	**△　662,732**
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	**50,672,701**
(E) 追加信託差損益金	**△ 17,631,131**
(F) 解約差損益金	**4,911,187**
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	**37,952,757**
次期繰越損益金(Ｇ)	**37,952,757**

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）損益の状況の中で**(F)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年４月１日）